

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Stop Bit	1
Data Bit	8
Parity	Even
Data Rate	9,600 bit per second
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「EO+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ABOOF+CR,LF」 (Alarm Buzzer Off)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-2. 「ABOON+CR,LF」 (Alarm Buzzer On)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-3. 「ACC+CR,LF」 (Alarm Compulsion Cancel)

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラームを強制解除します。

2-2-1-4. 「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-5. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-6. 「ADTnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time nn)

アラームの保持時間を設定します。

nnは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-14.「AOS nn N F F F F F +CR,LF」 (Alarm Output Signal nn Alarm signal set 1~6 OFF/ON)

アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。

nnは、入力チャンネル番号で設定範囲は【01】～【32】（【48】/【64】）です。

N F F F F F は、信号出力で端子台1～6を連続で設定します。

Nは【ON】，Fは【OFF】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-15.「AOS N F F F F F N F F F F F N F F F F F . . . +CR,LF」

(Alarm Output Signal nn Alarm signal set 1~6 OFF/ON)

アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。

入力チャンネル1～32 (48/64) 連続で設定します。

N F F F F F は、信号出力で端子台1～6を連続で設定します。

Nは【ON】，Fは【OFF】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-16.「AROF+CR,LF」 (Alarm Return Off)

アラーム リターンの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-17.「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラーム リターンの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-2.タイトル関連

2-2-2-1.「CTmm*****+CR,LF」 (Character Title input channel mm)

*****+CR,LF

入力チャンネルmmのタイトルを設定します。

タイトルの文字長さは21文字なので21文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

各文字はJIS-X0208の16進数をASCIIの4バイトで表します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【48】/【64】）です。

2-2-2-2.「CTAB nn+CR,LF」 (Character Title Adjust Bottom nn)

キャラクタ・タイトルのボトム側表示位置の微調整設定をします。

nnは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-3.「CTAT nn+CR,LF」 (Character Title Adjust Top nn)

キャラクタ・タイトルのトップ側表示位置の微調整設定をします。

nnは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-4.「CTImmOF+CR,LF」 (Character Title Input mm Off)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【OFF】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【48】/【64】）です。

2-2-2-5.「CTImmON+CR,LF」 (Character Title Input mm On)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【ON】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【48】/【64】）です。

- 2-2-2-6. 「CTIAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)
全入力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。
- 2-2-2-7. 「CTIAON+CR,LF」 (Character Title Input All On)
全入力チャンネルのタイトル表示設定を【ON】にします。
- 2-2-2-8. 「CTIoo+CR,LF」
(Character Title Input ch. 01~32 (48, 64) Off/On)
全入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。
oは、表示設定でF/Nです。
Fは【OFF】，Nは【ON】です。
入力チャンネル1から32(48, 64)まで連続で表示/非表示を設定します。
- 2-2-2-9. 「CTOnnOF+CR,LF」 (Character Title Input nn Off)
出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【OFF】にします。
nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。
- 2-2-2-10. 「CTOnnON+CR,LF」 (Character Title Input nn On)
出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【ON】にします。
nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。
- 2-2-2-11. 「CTOAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)
全出力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。
- 2-2-2-12. 「CTOAON+CR,LF」 (Character Title Input All On)
全出力チャンネルのタイトル表示設定を【ON】にします。
- 2-2-2-13. 「CTOoooooooooooo+CR,LF」 (Character Title Output ch. 01~16 Off/On)
全出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。
oは、表示設定でF/Nです。
Fは【OFF】，Nは【ON】です。
出力チャンネル1から16まで連続で表示/非表示を設定します。
- 2-2-2-14. 「CTPI mmB+CR,LF」 (Character Title Position Input channel mm Bottom)
入力チャンネルmmのタイトル表示位置を【BOTTOM】に設定します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】(【64】)です。
- 2-2-2-15. 「CTPI mmT+CR,LF」 (Character Title Position Input channel mm Top)
入力チャンネルmmのタイトル表示位置を【TOP】に設定します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】(【48】/【64】)です。
- 2-2-2-16. 「CTPIAB+CR,LF」 (Character Title Position Input All channel Bottom)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を【BOTTOM】に設定します。
- 2-2-2-17. 「CTPIAT+CR,LF」 (Character Title Position Input All channel Top)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を【TOP】に設定します。
- 2-2-2-18. 「CTPIpp+CR,LF」
(Character Title Position Input ch. 01~32 (48, 64) Bottom/Top)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を設定します。
pは、表示位置設定でB/Tです。
Bは【BOTTOM】，Tは【TOP】です。
入力チャンネル1から32(48, 64)まで連続で表示位置を設定します。

2-2-3.日付,時刻

2-2-3-1.「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

2-2-3-2.「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

2-2-3-3.「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

2-2-3-4.「TSA+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

2-2-3-5.「TSHnn+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【23】です。

2-2-3-6.「TSMnn+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

2-2-3-7.「TSSnn+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

2-2-4.日付,時刻の表示関連

2-2-4-1.「TSDSN+CR,LF」 (Time Signal Display Size Normal)

時刻表示のサイズ設定を【NORMAL】にします。

2-2-4-2.「TSDSS+CR,LF」 (Time Signal Display Size Small)

時刻表示のサイズ設定を【SMALL】にします。

2-2-4-3.「TSDRn+CR,LF」 (Time Signal Display Range n)

時刻表示のレンジ設定をnにします。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

2-2-4-4.「TSInnOF+CR,LF」 (Time Signal Input ch. nn Off)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

nnは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】 (【48】/【64】) です。

- 2-2-5-3. 「OA I mm+CR,LF」 (Output All ch.Input ch. mm)
 全出力チャンネルを入力チャンネルmmに設定します。
 mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】 (【48】/【64】) です。
- 2-2-5-4. 「OA S mm+CR,LF」 (Output All ch.Sequence pattern no. mm)
 全出力チャンネルをシーケンス・パターンmmに設定します。
 mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
- 2-2-5-5. 「OP n n+CR,LF」 (Output Pattern no. nn)
 全出力チャンネルをアウトプット・パターン番号nnに設定します。
 nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
- 2-2-5-6. 「OP FR+CR,LF」 (Output Pattern Free)
 アウトプット・パターンを【FREE】に設定します。
- 2-2-5-7. 「OP n n c c I mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn Output ch.cc Input no. mm)
 アウトプット・パターンのnnの出力チャンネルccをの入力チャンネルmmに設定します。
 nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
 ccは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。
 mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】 (【48】/【64】) です。
- 2-2-5-8. 「OP n n A l mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Input no. mm)
 アウトプット・パターンのnnの全出力チャンネルを同一の入力チャンネルmmに設定します。
 nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
 mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】 (【48】/【64】) です。
- 2-2-5-9. 「OP n n A S mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Sequence pattern no. mm)
 アウトプット・パターンのnnの全出力チャンネルを同一のシーケンス・パターン番号mmに設定します。
 nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
 mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
- 2-2-5-10. 「OP n n l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」
 (Output Pattern nn Input lmm)
 アウトプット・パターンの全出力チャンネルを入力チャンネルl mmに連続で設定します。
 nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
 l mmは、入力チャンネルで設定範囲は
 【I 01】～【I 32】 (【I 48】/【I 64】) 入力チャンネル01～32 (48, 64)
 【S 01】～【S 64】 シーケンス・パターン番号01～64 です。
- 2-2-5-11. 「OS l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」
 (Output Set 1～16 Input lmm)
 全出力チャンネルを入力チャンネルl mmに設定します。
 l mmは、入力チャンネルで設定範囲は
 【I 01】～【I 32】 (【I 48】/【I 64】) 入力チャンネル01～32 (48, 64)
 【S 01】～【S 64】 シーケンス・パターン番号01～64 です。
- 2-2-5-12. 「OE A OF+CR,LF」 (Output Enable All Off)
 全出力チャンネルを無効に設定します。
- 2-2-5-13. 「OE A ON+CR,LF」 (Output Enable All On)
 全出力チャンネルを有効に設定します。

2-2-5-14. 「OE mm OF+CR,LF」 (Output Enable mm Off)
出力チャンネルを個別に無効に設定します。
mmは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-5-15. 「OE mm ON+CR,LF」 (Output Enable mm On)
出力チャンネルを個別に有効に設定します。
mmは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-5-16. 「OE o o o o o o o o ~ o+CR,LF」 (Output Enable mm Off)
全出力チャンネルをまとめて設定します。
oは、設定値で【F】OFF 【N】ON です。

2-2-6.パスワード関連

2-2-6-1. 「PM OF+CR,LF」 (Password Menu Off)
パスワード・メニューの設定を【OFF】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-2. 「PM ON+CR,LF」 (Password Menu On)
パスワード・メニューの設定を【ON】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-3. 「PN n n n n n n n n+CR,LF」 (Password Number nnnnnn)
パスワード・ナンバーの設定を【nnnnnn】にします。
範囲は【000000】～【999999】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-4. 「PO OF+CR,LF」 (Password Operation Off)
パスワード・オペレーションの設定を【OFF】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-5. 「PO ON+CR,LF」 (Password Operation On)
パスワード・オペレーションの設定を【ON】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7.自動切換えパターン関連

2-2-7-1. 「SP n n A s s+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn, All ch. ss second)
シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。
nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
ssは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

2-2-7-2. 「SP n n m m s s+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn, input ch. mm, ss second)
シーケンス・パターン番号nnの入力チャンネルmmのシーケンス時間を設定します。
nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】 (【48】/【64】) です。
ssは、秒数で設定範囲は【00】～【99】です。
【00】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。

[illegible]

3-2-1-13. 「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

アラーム・リターンの設定を返します。

「AROF+CR,LF」 **【BREAK】**

「ARON+CR,LF」 **【MAKE】**

3-2-2. タイトル関連

3-2-2-1. 「RCTmm+CR,LF」 (Read Character Title input ch. mm)

入力チャンネルmmのタイトルを返します。

「CTmm*****+CR,LF」

mmは、入力チャンネルで設定範囲は**【01】～【32】**（**【48】/【64】**）です。

各文字はJIS-X0208の16進数をASCIIの4バイトで表します。

3-2-2-2. 「RCTAB+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Bottom)

タイトル表示微調整のボトム側の設定を返します。

「CTABnn+CR,LF」

nnは、設定値で**【01】～【16】**です。

3-2-2-3. 「RCTAT+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Top Bottom)

タイトル表示微調整のトップ側の設定を返します。

「CTATnn+CR,LF」

nnは、設定値で**【01】～【16】**です。

3-2-2-4. 「RCTI+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. 01～32 (48, 64))

全入力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「CTIoo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは**【OFF】**で、Nは**【ON】**です。

入力チャンネル1から32 (48, 64) まで連続で設定を返します。

3-2-2-5. 「RCTImm+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. mm)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を返します。

「CTImmOF+CR,LF」 **【OFF】**

「CTImmON+CR,LF」 **【ON】**

mmは、入力チャンネルで設定範囲は**【01】～【32】**（**【48】/【64】**）です。

3-2-2-6. 「RCTO+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. 01～16)

全出力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「CTOoooooooooooooooooooooooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは**【OFF】**で、Nは**【ON】**です。

出力チャンネル1から16まで連続で設定を返します。

3-2-2-7. 「CTOnn+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. nn)

出力チャンネルnnのタイトル表示設定を返します。

「CTOnnOF+CR,LF」 **【OFF】**

「CTOnnON+CR,LF」 **【ON】**

nnは、出力チャンネルで設定範囲は**【01】～【16】**です。

3-2-2-8. 「RCTPI+CR,LF」 (Read Character Title Position Input)

キャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。

[CTP I p +CR,LF]

p は、設定で B/T です。

Bは【BOTTOM】で、Tは【TOP】です。

入力チャンネルで1~32 (48, 64) まで連続で設定を返します。

3-2-3. 日付,時刻

3-2-3-1. 「RTD+CR.LF」 (Read Time & Date)

マトリックス・スイッチャ (MSW-3232A) の日付&時刻を返します。

$$\lceil y \ y. \ mm. \ dd \ \ hh : MM : ss + CR, LF \rceil$$

yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-4. 日付,時刻の表示

3-2-4-1. 「RTSDS+CR,LF」 (Read Time Signal Display Size)

時刻表示のサイズ設定を返します。

「TSDSN+CR,LF」 【NORMAL】

「TSDS S+CR,LF」 【SMALL】

3-2-4-2. 「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TS DR_m+CR, LF」

mは、設定値で

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD 】 年月日 です。

4は【 MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【 MDHM 】 月日時分 です。

6は【 MD 】 月日 です。

7は【 HMS】 時分秒 です。

8は【 HM 】 時分 です。

3-2-4-3. 「RTS I+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch.)

全入力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。

```
[TS I o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o +CR,LF]
```

○は、表示設定で F/N です。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

入力チャンネル 1 から 32 (48, 64) まで連続で設定を返します。

3-2-4-4. 「RTS I nn+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch. nn)

入力チャンネルn nの日付け,時刻表示の設定を返します。

「TS InnOF+CR,LF」 【OFF】

「TS In nON+CR,LF」 【ON】

nnは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【48】/【64】）です。

3-2-4-5. 「RTSO+CR.LF」 (Read Time Signal Output ch.)

全出力チャンネルの日付け、時刻の表示/非表示設定を返します。

「TSOooooooooooooo+CR,LF」

○は、表示設定で【F/N です。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

出力チャンネル 1 から 16 まで連続で設定を返します。

出力チャンネルn nの日付け,時刻表示の設定を返します。

「TSOnnON+CR,LF」 【ON】

n nは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-5-1. 「RO nn+CR,LF」 (Read Output ch. nn)

出力チャンネルnnの入力チャンネルを返します。

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

I mmは、入力チャンネルで【01】～【32】（【48】/【64】）です。

Smmは、シーケンス・パターン番号で【01】～【64】です。

現在、出力されている入力チャンネルを返します。

オートシーケンスの場合、その時のチャンネルを返します

「OC Dmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR.LF」

mmは、入力チャンネルです。

【01】～【32】（【48】/【64】） 入力チャンネル01～32（48, 64）

出力チャンネル 1 から 16 まで連続で設定を返します。

現在のアウトプット・パターン番号を返します。

nnは、パターン番号で【00】は「OP」コマンド未使用

【01】～【64】 はパターン番号01～64です。

FRは、【FREE】です

アウトプット・パターン `nn` の設定チャンネルを返します。

「OP n n l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」

1 mmは、入力チャンネルで

【101】～【132】（【148】/【164】）入力チャンネル01～32（48, 64）

【S01】～【S64】 シーケンス・パターン番号01～64

です。

出力チャンネル 1 から 32 まで連続で設定を返します。

アウトプット・パターン `nn` の出力チャンネル `cc` の設定チャンネルを返します。

「OP n n c c l mm+CR,LF」

1 mmは、入力チャンネルで

【I01】～【I32】（【I48】/【I64】）入力チャンネル01～32（48,64）

【S01】～【S64】 シーケンス・パターン番号01～64

です。

3-2-5-6. 「ROS+CR.LF」 (Read Output Set)

現在、設定されている出力チャンネルに対する入力チャンネルを返します。

「OS 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm+CR,LF」

1 mmは、入力チャンネルで

【101】～【132】（【148】/【164】）入力チャンネル01～32（48,64）

【S01】～【S64】 シーケンス・パターン番号01～64

です。

出力チャンネル 1 から 32 まで連続で設定を返します。

3-2-5-7. 「ROE+CR,LF」 (Read Output Enable)

出力チャンネルの有効/無効設定をまとめて返します。

「OE o o o o o o o o ~ o +CR,LF」

○は、設定値で【F】OFF 【N】ON です。

出力チャンネル 1 から 16 まで連続で設定を返します。

3-2-5-8. 「ROEmm+CR.LF」 (Read Output Enable 01~16)

出力チャンネルの有効/無効設定を個別に返します。

$$|\text{OE } 0 \text{ 1 OF+CR.LF}| \sim |\text{OE } 1 \text{ 6 ON+CR.LF}|$$

mmは、出力チャンネルで【01】～【16】です。

3-2-6.パスワード関連

3-2-6-1. 「RPM+CR.LF」 (Read Password Menu)

パスワード・メニューの設定を返します。

「PMOF+CR.LF」 【OFF】

「PMON+CR.LF」 【ON】

3-2-6-2. 「RPN+CR.LF」 (Read Password Number)

パスワード・ナンバーの設定を返します。

「PNnnnnnn+CR,LF」 【000000】～【999999】

3-2-6-3. 「R P O+CR.LF」 (Read Password Operation)

パスワード・オペレーションの設定を返します。

「POOF+CR.LF」 【OFF】

「POON+CR.LF」 【ON】

3-2-7.自動切換ネパターン関連

3-2-7-1. 「R S P n n+CR.LF」 (Read Sequence Pattern no. no. nn)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を返します。単位は秒です。

`[SPnnssssssssssssssssssssssssssssssssssssssssssssssss`

S S+CR.LF|

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

s sは、秒数で【00】～【99】です。

入力チャンネル1から32 (48.64) まで時間を2桁ずつ連続で返します。

3-2-7-2. 「R S P n n mm+CR,LF」 (Read Sequence Pattern no. nn,input ch. mm)

シーケンス・パターン番号 nn の入力チャンネル mm のシーケンス時間を返します。単位は秒です。

$$[SPnnmm00+CR,LF] \sim [SPnnmm99+CR,LF] \quad [00] \sim [99]$$

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【48】/【64】）です。

3-2-8.バージョン情報

3-2-8-1.「RVN+CR,LF」 (Read Version Number)

MSW-3216B (4816B, 6416B) のバージョン番号を返します。

「VN *. **+CR,LF」

*は、数値で【0】～【9】です。

4.ご注意

Command の発行を連続で行う場合 100mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

Title キャラクタ設定 (CA Command) の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

JIS X0208 第1水準は 3,562 文字で

0x222f～0x2239,0x2242～0x2249,0x2251～0x225b,0x226b～0x2271,0x227a～0x227d,
0x2321～0x232f,0x233a～0x2340,0x235b～0x2360,0x237b～0x237e,0x2474～0x247e,
0x2577～0x257e,0x2639～0x2640,0x2659～0x267e,0x2742～0x2750,0x2772～0x277e,
0x2841～0x2f7e,0x4f54～0x4f7e

のコードは除きます。

JIS X0208 第2水準は 3,390 文字で 0x7427～0x7e7e のコードは除きます。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5.変更履歴

2015.02.09 2-2-2-2, 2-2-1-14, 2-2-1-12 に関する誤記を修正。

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘ー’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH